

## 第4号議案

### 令和元年度事業活動計画

#### 【全般的な活動について】

5月1日より、新元号「令和」となり最初の総会となりました。平成の30年間はバブルの絶頂期に始まりこれに続くバブルの負の遺産を精算する長い不況の時期が続きました。少し好転したもののリーマンショック、それに続く低成長の時代。終盤は実感のない好景気の時期でした。「令和」は一体どのような時代になるのでしょうか。

世の常として、好景気、不景気を繰り返すものと思われませんが、働く人々が報われる社会になってもらいたいものです。

本年度も下記のような方針を基に活動したいと思います。

#### 本年度活動方針

##### 1. 会員増強に務める

正会員の高齢化が目立ち始めています。協会の維持と存続のためには会員増強は欠かせません。本年はこの点を最優先に考え努力したいと思います。

##### 2. セミナーの充実を図る

技術と知識の向上を目的として各種のセミナーや見学会を企画したいと思います。

若手所員向けの「技術者のための実践講習会」是非開催したいと思います。

##### 3. 賛助会員による企業PRに務める。

「企業PR会」を本年度も開催し我々設計事務所の知らない新製品や材料、製品に対する知識を専門家の立場から発表していただきたいと思っています。

##### 4. 京都府、京都市との交流

懇談会も例年通り開催し今年度は京都市の都市計画局建築指導部の方とも意見交換会を持ちたいと思います。また、建築4団体とも連携して我々が日頃行政に対して思っていること等を要望したいと思っています。

##### 5. 働き方改革に対する議論を行う

昨年度も「BIM」等の講習会を行いました。技術者不足、人手不足の中どのように効率化を行うのかまた、労働環境の整備のあり方等を会員相互で議論したいと思っています。

「令和」元年のスタートに当たり皆様にとっても当協会にとっても希望に満ちた一年となることを望んでいます。

## 組織活動について

### 【総務部会】

1. 今年度も総会後の懇親会を初めとし、会員、協力会員、賛助会員との情報交換の更なる充実を計ります。6月にゴルフ親睦会、夏のビアパーティー、秋の研修旅行、新年会を開催し、一層の活性化の為に会員事務所所員の皆さんも多数ご参加いただける様、努力して参ります。
2. 情報サロン・企業 PR の会も昨年度は積極的なご参加を頂きました。深く感謝申し上げます。本年度も賛助会員様のご協力、ご支援をより一層賜りますようお願い致します。技術研修部会とも連携を図り、今後益々増大する業務や、技術の進歩に対応すべく、引き続き正会員・協力会員・賛助会員との連携、親睦を深め、技術情報の交換や、新商品の PR 等の機会を増やし、会員事務所の研鑽の場として充実させて参ります。  
社員様、所員様の多数のご参加を期待しています。
3. 協会の財政基盤の安定は活発な協会活動にとって大変重要です。会員の増強にも一層努力し、収入増加と効果的な支出に今年度も一層努力し、財政の健全な運営に努力して参ります。会員事務所、協力会員、賛助会員様の益々のご協力、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 情報交流・事務所運営について

### 【情報交流部会・事務所運営】

#### 〔広報委員会〕

1. 京都府・市との懇談会、意見交換会を本年も開催し、最新の情報交換を行う事により相互理解の促進を図ります。京都市においてはより充実した意見交換会となるよう例年参加部署以外からの出席もお願いしています。
2. 京都市建築物安全安心実施計画会議等へ委員として参加し建築物の質の向上及び安全性向上に協力し、安心で安全な街づくりに参加してまいります。
3. 当会の活動や、協会員設計事務所のより詳細な情報提供を行い、社会的認知度向上や専業事務所の意義を深めてまいります。  
内容等についても一層充実してまいります。
4. 理事会報告は毎月ニュースレターとして発行し、会員への広報を行います。
5. ホームページを定期的に更新し、最新の協会情報を発信します。
6. 建築関係団体協議会の開催に参加し、交流を深め、建築基準法、建築士法、条例等々の最新情報提供を企画します。
7. 京都弁護士会からの委嘱を受け、住宅紛争処理委員の建築士委員として協力します。
8. 今年度も京都市立京都工学院高等学校生徒のインターンシップ受入に協力します。

#### 〔事務所運営研究〕

設計事務所で働きたいという人材が極端に減っています。

大変おもしろく社会に役立つ職業なのに。

将来に向けて、今年度はこの問題をキーとして活動したいと思っています。

一緒に取り組みましょう。

## 研究・研修活動について

### 【技術研修部会】

【講習会】【見学会】【国際交流委員会】【次世代委員会】の4つの活動を行います。

【講習会】令和の時代において先導的な役割を担えるよう、理論的であり高度な技術を勉強できる場をつくりたいと考えています。

1. 令和元年は「新年度を迎え、業界の健全な繁栄を図る上で大切となる知識や技術が得られる講演会」を企画し、年3回のセミナー（講習会）を企画開催したいと考えています。開催時期は例年同様に、組合との共催で年3回（7月、10月、1月頃）実施したいと考えています。

【見学会】当協会の特色を生かした建築・工場等の見学会を企画いたします。

1. 国際都市として国際交流にも配慮した見学会を2回程度開催したいと考えています。

※「講習会の内容」や「見学したい話題の建物や現場」についてのご要望があれば、担当理事までご連絡いただきますようお願い致します。

【国際交流委員会】建築に関心がある海外の方々と「建築」を介して直接的な交流ができる企画をします。

1. 建築界（建築設計監理業界を含めて）における“人手不足”問題に対応できる海外からの人材の就労についての勉強会を行いたいと考えています。

昨今、各企業において、日本国内での人材不足が近々の問題であり外国人の就労を求めることも必要な情勢であります。また、一方では世界のグローバル化が進むと共に、ITの発展による情報の受信、発信の簡易化 更にその拡散も見られます。

2018年に日本国内に宿泊された外国人の延べ人数は 8859万人です。

その多くが京都で宿泊または観光にお見えであります。

そこで当委員会として以下の目的に寄与する事業を考え、活動したいと考えています。

- －KSK会員の国際的感覚への一層なる思いを喚起する。
- －海外からの留学生へ日本の建築について情報発信
- －海外からの就業者への協力 と その受け入れへのKSK会員の勉強 等

【次世代委員会】「実務者のための実践報告会」の実施に向けて企画及び実施したいと考えています。

1. 次世代が実務を行う上で重要となるBIM（Building Information Modeling）の動向や導入に際しての実際を紹介する機会を引き続き設けます。

賛助会員と連携した実務者向けの見学会や、意見交換会や交流会なども、随時開催が可能です。

そのような企画の着想がありましたら、ぜひ次世代委員会にご提案ください。また、参加事務所の呼びかけを続けて参りますのでご協力をお願いいたします。

【京都市景観デザイン会議】令和元年も同様に景観デザイン会議、景観市民会議、景観デザイン作業部会等に参加いたします。

1. 条例の改正にともなう景観デザインの施策などに対して議論を深め、実務を通して京都市街地の良好な景観の形成が図れるよう活動したいと考えています。
2. 今回の条例で追記された景観デザインレビュー制度などにおける諸問題に関しても専門委員として、協会の一員である事を忘れず真摯に参加及び活動、提言していきたいと考えています。